

なかましみんとしょかん 中間市民図書館

おすすめの本 12月号

<小学1・2年>



『ハムスたんていとかいとうニヤー』

おつかけんたさくしばたえ
大塚 健太作、柴田 純絵

ガッケン
Gakken

あるひ、ハムスたんていのところに、だれかからちようせんじょうがときました。「ひまわりのたねはいただいた！にやぞにやぞせんもんせいいかいできたら、かえてあげるにゃ」ハムスたんていはおおあわて。そこへ、ちようせんじょうをおくりつけた、かいとうニヤーがあらわれて…。

『まるみかん大一番』



まはらみとさく
三桃作

しょうがくかん
小学館

まるみしりつ としょかん つうしょ そうせつ じゅうねん
丸美市立みんなの図書館、通称「まるみかん」。創設50周年
むか ひつせんへいかん
を迎えたばかりの「まるみかん」だったが、ある日突然閉館する
こいつれい ひつせんへいかん
ことが決った。小6の研心ら、まるみかん利用者たちは、
へいかんと ちからあ こえ
閉館を止めるために力を合わせて声をあげ…。

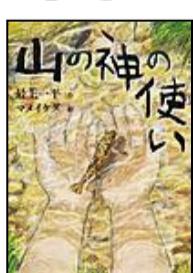
『ラッテとふしきなたね』



しょうのさくこみねしょてん
庄野ナホコ作 小峰書店

ねこのラッテは、はなやみどりをそだてるのがだいすきです。あるひ、ラッテがにわしごとをしていると、ふしきなとりがとんでき、くわえていたねをラッテのまえにおとすと、すぐにとんでいってしまいました。ラッテはうえきばちにたねをまき、まいにちおせわをすると、ちいさなみどりのめがでて、あおいつぼみをつけましたが…。

『山の神の使い』



もがみいっべいさく
最上一平作、マメイケダ絵 童心社

にゆるっとだん力のある田んぼのどろ、春のみどりのにおい、山のいきづかい、アキグミの味、稻たばの重み…。おじいちゃんとおばあちゃんがおしゃってくれることは、ぼくのしらないことばかり。東京にすむ大河が山形でこそす、春、夏、秋の物語。

<小学3・4年>

『とびきりおいしいおうちごはん』



のむらゆりちょ しょうがくかん
野村友里著 小学館クリエイティブ

マヨネーズと牛乳がふんわりのひみつ「スクランブルエッグ」、愛らしい「お花シュウマイ」、辛い調味料を使わない「えびチリなし」…。卵、肉、野菜、魚の料理を、約40レシピ紹介。料理の道具やいろいろな切り方、大人好みの味になるレンジ方法なども説明します。

ほかにもたくさんの本が まっているよ。

みんなで中間市民図書館にきてね！

～児童書～

TRC MARCより

ほんらいようしおかい

本の内容を紹介



<小学3・4年>



『おいらブカブカ、ラツタツタ島に帰ろかな』

いわささくたかばたけじゅんえ
岩佐めぐみ作、高畠純絵

かいせいしゃ
偕成社

ふるさとラツタツタ島から旅に出たまま、コンブ林に住みついで、民宿のあるじとなったラツコのブカブカは、近ごろ民宿がひまなので、大きいそがしのクジラ海郵便局でアルバイトをすることに。カツコつけているブカブカだけど、タコ事務員さんにほんとうのきもちを見抜かれて…。

<全学年>



『みんなが知りたい！世界遺産』

「みんなが知りたい！世界遺産」編集室著

メイツユニバーサルコンテンツ

しぜんかんきょう じんるいれきし つたたてもの じんるいきょうつう さいさん
自然環境や、人類の歴史を伝える建物など、人類共通の財産
みらいのこ せかいいさん
として未来に残していくべき「世界遺産」。マチュピチの歴史
ほこく こだいいせきなど にほんせかい
保護区、オリンピアの古代遺跡等、日本・世界の代表的な世界
いさんしゃしん しょうかい
遺産を写真とともにわかりやすく紹介します。

『森のサプリメント探検帳』



いいだたけしこせいぶんかめだりゅうきちしゃしんぎじゅつひょうろんしゃ
飯田猛構成文、亀田龍吉写真技術評論社

あきみどりいろはいろ さかんさく
秋。緑色だった葉っぱが色づきはじめました。気温がもっと下がると真赤になり、やがて木から落ちます。イロハモジの葉っぱがどのように変化していくのか、木から落ちた葉っぱがどうなつていくのかを説明。イチョウの葉っぱを使った工作も紹介します。



『海でつばさを手に入れる』

なかむらげんさくみのわよしたかえりんしゃ
中村玄作、箕輪義隆絵 理論社

いまから5300万年前、ほにゅう類の時代がやってきました。水かきをもち、魚をつかまえて食べていたパキケタスは、ほかのほにゅう類が見向きもしなかった水の中に、豊かなエサ場を見つけました。パキケタスを祖先にもつほにゅう類は、海で生活できるように進化していき…。クジラの進化をえがいた絵本。



『伊能忠敬』

くにまつとしひでちょととやえぶんけんしゅつばん
国松俊英著、十々夜絵文研出版

えどじたいさわらむらしおにんさいいんきよ
江戸時代。佐原村の商人で、50歳で隠居をしてから学問の道をこころざした伊能忠敬。51歳で天文学者・高橋至時の弟子となり、56歳で蝦夷地へ最初の旅に出て…。実測による日本で初めての日本地図を制作した忠敬の人生をたどる。